



お口の粘膜の異常や疾患

お口の粘膜に異常や疾患があると、とても気になるものです。実際、お口にできる異常としてはいろいろなものがありますが、一般的にも見られるものについてご紹介します。

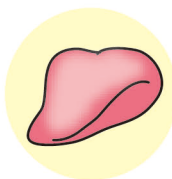
◆アフタ性口内炎

単発で起こることが多いですが、複数同時に現れる場合もある最も頻繁にみられるお口の粘膜の異常です。白っぽい潰瘍の状態となり、接触すると強い痛みを感じますが、通常10日前後で自然に治ります。



◆口腔カンジダ症

口の中に白い膜ができ、こすり取ることができますが、その奥は赤くただれており、刺激によってピリピリと痛みを感じます。



◆ヘルペス性口内炎

単純性ヘルペスウイルスによる感染で起こります。口内に水ぶくれが大量にでき、のちに潰れてアフタ性口内炎になります。強い痛みを出し、飲食が困難になります。



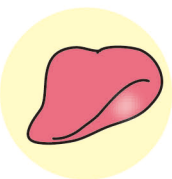
◆扁平苔癬

(へんぺいたいせん)原因不明の病気で、口内の粘膜に白いレース状で現れます。触れるとピリピリと痛く、飲食時に痛むことがあります。



◆白板症

(はくばんしょう)表面が硬くて白い板状や斑点状の病変です。原因は不明で、初期のがんである場合もあります。



◆粘液嚢胞

主に下唇の裏側の粘膜に見られるもので、水膨れのようになります。誤って噛んでしまうことにより唾液腺の開口部が閉じてしまうことで起こり、中に唾液が貯留します。



以上の他にも、数多くの粘膜異常や疾患はあります。痛くて辛い、なかなか治らない、といった場合は早めに歯科を受診しましょう。

自己判断で治療中断はトラブルの原因に

「痛みがなくなったから様子をみよう」、「仕事が忙しいし、少しくらい間をあけてもいいかな」、など自己判断で治療を中断する方がいます。治療は中断すると、その状態で止まるわけではなく、どんどん悪化してしまいます。「そのうち再開するから…」と思って治療を中断して、ズルズル時間が過ぎてしまうと後で大変なことになる場合もあるので、治療は最後までしっかり受けましょう。

